

第3回 芦屋市上下水道事業経営審議会 会議録（要旨）

日 時	令和3年7月10日（土） 9：00～11：40
会 場	市役所南館4階 大会議室
出席者	<p>会 長 西尾宇一郎 会長職務代理 藤本光司 委 員 東 琢，榊原和穂，浅田信二，伊東典子，大塚洋平 小林紀代子，酒井克子，御手洗裕己 欠 席 西川隆士 事務局 上下水道部 阪元靖司 水道管理課 平野雅之，山根和之，亀井容平，前田健太， 蓮池友希 水道業務課 夏川龍也，木津侑也，頭井智世 水道工務課 藤本祥行，大村麻雄，高木道明，米村昌純 下水道課 宮本博嗣，山東千紗，中田恭平，安井久也， 鵜飼雅浩 下水処理場 北村俊博，井上隆寛</p>
会議の公表	<p><input checked="" type="checkbox"/> 公 開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 部分公開 <非公開・部分公開とした場合の理由></p>
傍 聴 者	0人

上下水道事業のそれぞれのビジョン及び経営戦略について、上記日時において水道事業、下水道事業の課長が説明を行い、各委員からの質問に対して回答を行ったところ、複数の委員から水道事業と下水道事業のそれぞれのビジョン及び経営戦略を調整可能なところは合わせた方が良いという意見が出た。

その他審議概要については以下のとおりである。

1 審議概要

(1) 「現状と課題」の質問及び回答について説明

水道管理課長と下水道課長から「質問に対する回答」に沿って第1回 芦屋市上下水道事業経営審議会資料配布により寄せられた質問に対する回答の説明（省略）

(2) 芦屋市水道ビジョン（経営戦略）について説明

（水道管理課長）

「芦屋市水道ビジョン（案）」の「現状と課題」の加筆・修正と「目指すべき方向性」、「将来像実現のための施策」を説明（省略）

「芦屋市水道ビジョン・水道経営戦略 財政計画（案）」により「水道事業経営分析」及び「投資・財政計画」の説明（省略）

【質問・回答】

(委員)

- ①奥山浄水場について、阪神・淡路大震災で重要な役割を果たしたということですけれども、完全な民間委託にする方向ではなく、職員人材育成の場であり、震災時には危機管理において自主管理する体制が必要ではないですか。
- ②芦屋市水道ビジョンは、見直しを4年毎から5年毎にするということですが、近頃の気候変動等の情勢変化に対応するため期間を短縮することが必要ではないですか。
- ③これはお願いですが、6月26日資料で、阪神・淡路大震災では、芦屋市に南は沖縄から北は新潟まで全国から救援のため1万人ほど非常に多くの方に来ていただいたことを知りました。子供たちにそのような支援があったことを伝えてほしい。芦屋市も支援をしているということを伝えてほしい。是非、子供たちに伝えて頂きたい。

(水道管理課長)

- ①について、大事な奥山浄水場と認識していますが、阪神水道企業団も耐震化を進めていますので、将来的には自己水をどこまで確保する必要があるのか検討が必要です。今のところ奥山浄水場は、業務委託に移行しながら持続したいと考えています。しかし、水道料金の値上げをしてまで奥山浄水場を維持することについては、市民から望まれていないと考えています。
- ②について、ビジョンは大きな計画であり、5年毎の見直しとしたい。詳細な施策につきましては毎年見直しを行っていきます。
- ③について、子供たちに阪神・淡路大震災で多くの支援を受けたことは伝えていきたい。今後の検討課題とさせていただきます。

(上下水道部長)

- ③について、阪神・淡路大震災の経験者が少なくなってきました。芦屋市全体で考えていくことであり、貴重な意見ですので、念頭に置いて、やっていければと思います。

(委員)

- ③について、芦屋市として本にするなり、今、それが必要だと思うので、よろしくをお願いします。

(委員)

- ①水道経営戦略の財政計画について、50年の長い経営戦略の作成について有難い。この資料が外部に出ていくものであれば、分かりやすく見て頂けるように、どういう推計をしたのか推計方法を書いておいた方が見やすい資料になると思います。

②水道経営戦略の財政計画について、シミュレーションして頂いているので、何年後に料金改定だとか説明があると分かりやすいと思います。

(水道管理課長)

- ① 経営戦略は10年の財政計画を出していこうと考えています。50年の財政計画はあくまで長期にかかわる推計なので、信頼性が乏しいことから内部の参考資料とします。
- ②について、投資額4億円では、令和30年度に資金ショートであるとか、詳細は「芦屋市水道ビジョン・水道経営戦略 財政計画(案)」に記載しているところです。説明では省略させて頂きました。

(委員)

- ・法定耐用年数が管路は40年、ポリエチレン管など寿命の長いものでも、それでも試算は変わらないものですか。

(水道管理課長)

- ・法定耐用年数は地方公営企業法で40年と定められています。お話のようにビニールパイプ管もGX形ダクタイル鋳鉄管も全てが同じ40年は疑問に思いますが、法で定められているので40年で取り扱っています。

(委員)

- ・将来を考えると人口が減少となり、芦屋市は住宅地が多いけれども産業が少なく、料金が逓増料金制で、収益構造が年々シビアになると予測されます。そうするとコントロールできるのはコスト側、そうした時に管を更新するとしたら償却期間が負担になります。つまり、平準化できれば投資余力も出てくるので、長期的に経営が安定できると考えます。

(水道管理課長)

- ・ご意見として頂戴します。

(委員)

- ①「芦屋市水道ビジョン(案)」に記載されている取得資格以外にも、技術士等の取得を目指してもらいたい。
- ②芦屋調整池について、貯留時間が長いので、平常時の運用で残留塩素は大丈夫か。水の保管についての計画があれば教えて頂きたい。

(水道工務課長)

- ②について、配水池には残留塩素0.8~0.9mg/Lで入ってきて末端で0.1mg/Lを下回ることはありません。防災基準に基づいて水を保管して運用したいと考え

ています。

(委員)

- ・水道料金改定は、必要であれば上げる、必要でなければ下げるということではなく、余力があれば積極的に資本投資することだと思ふ。将来のために、そのような対策を取っていただきたいと思ふ。

(水道管理課長)

- ・料金の値上げは、市民に対して負担を求めることとなりますので、現在は料金改定を実施する予定はありません。

(会長)

- ・「芦屋市水道経営戦略 財政計画 (案)」の経営分析は、分析結果についての理由の記載をお願いします。

(3) 芦屋市下水道ビジョン (経営戦略) について説明

(下水道課長)

- 「芦屋市下水道ビジョン (案)」により「現状と課題」、「目指す将来像と今後の取組」を説明 (省略)
- 「芦屋市下水道事業経営戦略 (原案)」により「事業概要」、「経営の基本方針」及び「投資・財政計画」の説明 (省略)

【質問・回答】

(委員)

- ①「芦屋市下水道事業経営戦略 (原案)」について、投資・収支計画が令和13年度までとなっているが、その先を見てみたい。水道事業と同じような整理が良いと思ふ。
- ②下水道事業も人事的なことの記載があっても良いのではと思ふ。

(下水道課長)

- ①について、今後、検討します。
- ②について、職員体制についても今後検討します。下水道事業は地方公営企業法の一部適用で直接の人事権を持っていないということを記載させて頂いています。

(会長)

- ①今後、水道と同じように下水道の経営理念があってはどうか。
- ②「芦屋市下水道ビジョン (案)」 p42, ストックマネジメントによるコスト縮減

の主たる要因は何でしょうか。

(下水道課長)

②について、調査を実施して、状態が良ければ延命化していきます。また、悪くても部分的な補修などによりコストを下げていることを実施するものです。

(委員)

①水道事業と下水道事業、資料の構成が違うので、一つの組織としてやってくださいというお願いです。

②「芦屋市下水道ビジョン(案)」p36の内水ハザードマップについて、浸水履歴の内水ハザードマップ、計算上の内水ハザードマップの2種類を作成し公表いただきたい。

(下水道課長)

①について、今回、全てを一緒にするのは難しいのですが、今後も含めて検討させていただきます。

②について、内水ハザードマップがいくつもあるのは混乱するので、一つにまとめて提供出来たらと考えています。

(会長職務代理)

①について、水道事業、下水道事業の資料について、お互いに良いところがあります。両方の良いところをすり合わせしてはどうかと思います。

(下水道課長)

①について、今後、そういった形で調整を進めてまいります。

(会長)

・「芦屋市下水道ビジョン(案)」p19、家庭に例えることについて、この状況が続くのか、ボーナス(一般会計繰入金)がなくなったらどうなるのか、そういうことは考えなくては良いのかどうかについて教えて頂きたい。

(下水道課長)

・芦屋市は下水道の整備が早く、更新工事が必要となっています。近年は雨水工事が多いですが将来的には、下水道使用料に頼ることになるのではないかと考えています。

(4) その他

(会長)

・次回、また議論させて頂きたい。

- ・今回の宿題について事務局で整理をお願いする。
- ・何か質問があれば，また事務局にお送り頂いたらと思う。

(水道管理課長)

- ・スケジュールの説明。次回第4回は8月7日，場所はおって連絡させていただきます。
- ・9月，10月パブリックコメントする前に，8月31日の市議会で，上下水道のそれぞれのビジョン・経営戦略のパブリックコメントを実施する報告・説明する予定にしています。10月20日頃でパブリックコメントを終了し，とりまとめて11月20日頃に第5回の開催を考えています。
- ・8月開催時に，11月の日程を決めたいと思います。

以 上

会長
